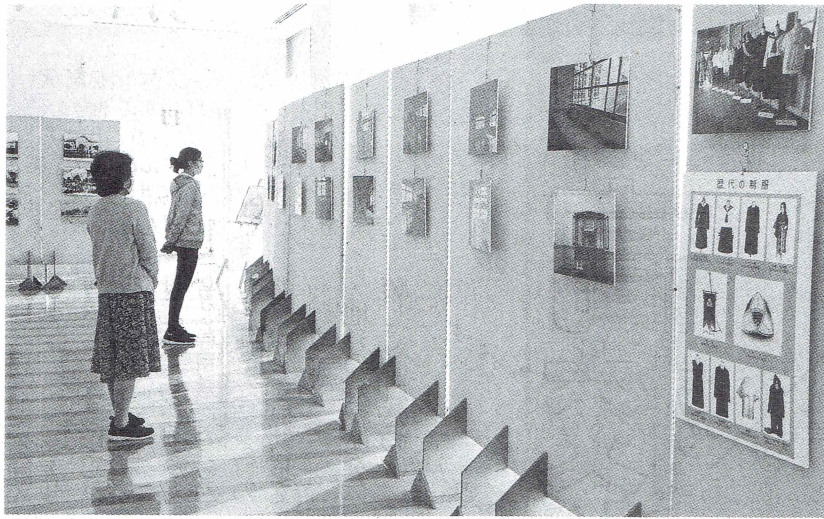


写真パネルなど50点展示

旧安房南高 校舎一般公開事業で

令和3年度県立安房南高等学校旧校舎一般公開事業の一つ、「写真パネル展」が館山市



展示されたパネル 館山

の県南総合文化ホールのギャラリーで開催されている。写真、解説パネルは全50点。B2、A2と3サイズのパネルが並ぶ。11月7日まで。

県教育委員会、安房高校が主催し、企画運営をNPO法人安房文化遺産フォーラムが毎年行っている同事業。同校舎は災害の経験を生かした耐震構造建築として、昭和5年(1930)に新築され、建設当時の様子をよくとどめており、平成7年(1995)3月14日に県指定有形文化財(建造物)となっている。

築された経緯や、県有形文化財に指定された経緯などを解説。校舎内外の写真、卒業生が在校時に描いた同校の絵画4点も展示されている。

同内容で鋸南会場も予定しており、道の駅きよなん案内所ギャラリーで、11月20日から28日まで開催される。同安房文化遺産フォーラムの池田恵美子さんは、「校舎を大事にしていく気持ちを地域の人たちと共有していければ」と話し、来場を呼び掛けている。

各会場の開催時間は、▽館山会場 午前10時～午後4時。月曜休館▽鋸南会場 午前9時～午後5時。月曜休館 となっている。また、11月3日(午後1時～2時半)には、「安房南高校木造校舎

の魅力」と題し、現地から伝えるオンライン講演会を開催する。参加は無料で事前申し込み登録が必要。安房文化遺産フォーラムのホームページのオンライン講演会のページから申し込む。

詳しい問い合わせは、安房文化遺産フォーラム(0470-22-8271)へ。